

道中君と菊田さんが出場

全国大会への出場切符は逸す

岐阜高専で11月12日(土)午後1時30分から第5回東海北陸地区高専英語スピーチコンテストが開催され、金沢高専からは、国際コミュニケーション情報工学科4年の道中悠輔(みちなか・ゆうすけ)君、菊田楓(きくだ・かえで)さんの2人が出場した。

道中君の題は「Be the First Penguin.」 人間は往々にしてペンギンのように群れを成し、恥ずかしそうに行動するが、ペンギンは時には個々が海中にもぐり危険を冒しても食料を捕らえに行く勇敢さがある。そんな姿に感動を覚え、昨年の留学先ニュージーランドで自身の内気を払拭しようと、大胆にバンジージャンプを体験し、自信を深めた。その時の心境を熱く語った。

一方、菊田さんは「It takes a village to raise a child.」と題し、ニュージーランド留学時のホストファミリー、自分を育ててくれた親、家族、親戚、地域の存在と自分とのかかわりについて語った。



スピーチコンテスト会場前で記念写真に
納まる道中君(左)と菊田さん

結果は、道中君が出場者11人中第3位に入賞したが、惜しくも全国大会への出場切符は逃す結果となった。菊田さん、道中君の両名は自己の最善を尽くした堂々とした発表を行い、誇らしい限りだった。